

六甲カトリック教会報

2006.8 No.416

8月のお知らせ

	教会暦	教会行事
1火	聖アルフォンソ(リゴリ)司教教会博士	
4金	聖ヨハネ・マリア・ピアンネ司祭	初金 7:00 10:00 ミサ
6日	主の変容 日本カトリック平和旬間 (15日まで)	教会学校キャンプ (8/6~8/9)
8火	聖ドミニコ司祭	
10木	聖ラウレンチオ助祭殉教者	
11金	聖クララおとめ	
12土		13:00 平和旬間の講演会 (川村神父)
13日	年間第19主日	13:00 平和旬間の合同礼拝 (川村神父) 中高生キャンプ (8/13~8/16)
14月	聖マリアノ・マリア・コルバ ^ス 司祭殉教者	
15火	聖母の被昇天(祭日)	7:00 10:00 ミサ 19:00 共同体の祈り
19土		納涼の夕べ 17:00 ミサ(19時ミサはありません)
20日	年間第20主日	
21月	聖ピオ十世教皇	
22火	天の元后聖マリア	
24木	聖バルトロマイ使徒	
26土		聖書朗読リレー (8:00~17:00)
27日	年間第21主日	14:00 歌唱ミサ(池長大司教)
28月	聖アウグスチヌス司教教会博士	
29火	洗礼者聖ヨハネの殉教	

8月の青い空に

8月には被昇天のマリア様の祭日があります。その日は神様の力で天に上げられたマリア様をお祝いし、私たち人間の手本であるマリア様を通して、人のあるべき姿を見つけて日々の生活の中にならば、最後の日に私たちも神様によって天に上げられることを信じて、マリア様に取り次ぎを願ひましょう。

先日、外国の若者たちの座談会をテレビで見て、感じたことがあります。彼らはそれぞれに自分の任務をしっかりと自覚して、責任を全うして、発言に非常に迫力がありました。日本の若者はどうでしょうか。大人になりきれない若者が増えてきたと問題視されています。こ

れは日本の贅沢さが生み出したものと言えるでしょう。大人たちはこういった若者を見て「今時の若者」と批判しますが、その若者を育てたのは前の世代の人たちですから、責任はそこにもあります。

人の歴史は、歯車がかみ合って回って、大きな歯車・小さな歯車に次から次と力が伝えられて、繋がって動いていくものです。歯がどこか欠けた歯車ではうまく回っていきません。それと同じように、自分たちが体験したものを自身で理解し、言葉で伝え、行動で示して、何かの形で次の世代にきちんと繋いでいるのでしょうか。若者たちが「わかっていない」ことを大人はちゃんと「わかっていない」と伝えているでしょ

うか。教えてもらわなければ、知らないことも、わからないことも、気がつかないこともたくさんあるでしょう。違う世代とのコミュニケーションはうまくいっていますか。

また、8月といえば、原爆記念日と終戦記念日に思いが繋がります。神戸の人は、阪神淡路大震災の体験は熱心に語り継いでいますが、戦争体験となるとどうでしょうか。誤解を恐れずに言うと、戦争、原爆を体験された年配の方々は、平和を考えるための貴重なプレゼントをも

らったのです。どうか、それを次の世代のために残さなければならぬ、貴重な体験として語り継いで、プレゼントとして渡してもらいたいと思います。受け取った世代もまた、次の世代に渡して行ってください。そうして、皆が神様の子どもとして、ひとりひとりに与えられた役割を受け止めて、考えて、それを全うするように責任を果たしていきましょう。

God bless you.

祈りのうちに

バレンタイン・デ・スーザ S.J.

各 部 会 だ よ り

👉 壮年会

< 例会報告 >

7月2日(日)に壮年会の例会が開かれ、安芸神父様の「スペイン巡礼みやげ話」を聴きました。安芸神父様は5月にスペイン北部とポルトガルへの巡礼に出かけられ、イグナチオ・ロヨラやザビエルの足跡をたどってこられました。現地でのミサにも参加されました。ポルトガルの寒村ファティマでの20世紀の奇跡「ファティマの予言」の第3の「世界は無神論が支配するようになる」という予言については、現代のカトリックの置かれた状況から見ればあながち当てないわけでもない、というようなお話も伺いました。壮年会以外のかたがたも聴講して、黒板には大きなスペインの地図が掲げられ、美しいスペインの風景や建物の写真が回覧されてなごやかな報告会となりました。

< 男の料理教室 >

8月16日(水) 10時から

👉 婦人会

1、掃除当番募集について

7月7日のトップ会で、婦人会の地区ごとの掃除はそのままで、下記の時間帯で募集することに決まりました。募集は9月初めから、約1ヶ月間です。皆様、どうかご協力をお願い致します。

金曜日 午後1時30分

土曜日 午前9時30分

日曜日 11時ミサ後

2、納涼の夕べ

8月19日の納涼の夕べのお手伝いは、

東1・2・3です。当日午後4時に集合お願い致します。

3、8月の聖堂掃除当番

4日(金) 東2・3

11日(金) 東4・5

18日(金) 西1・2

25日(金) 西3・4・5

掃除マニュアルが出来ました。倉庫の棚のごにあります。また、黒板にも貼ってあります。

掃除用品で足りない物は、日付・地区・名前を書いて缶にお入れ下さい。

例会報告

「バンバン神父様、お帰りなさい」

7月7日、七夕の日の婦人会の例会では、ご帰国直後のバンバン神父様よりさっそくお話を伺いました。久しぶりに神父様にお会いできるということで、多くのファンの方々がイグナチオホールに集まりました。またこの日は、2004年からメルシュ氏に製作依頼しておりました演卓が完成し、デビューの日ともなりました。手作りの温もりとメルシュ氏の思いが伝わってくる演卓をご覧になって、バンバン神父様は、「メルシュさんの存在そのものが表れている、すばらしい作品ですね。」と初スピーカーであることを大変喜んで下さいました。

神父様はこの2年間、ボストン(アメリカ)の青少年施設やホームレスのシェルターにて、

人々の心のケアに向き合ってこられたということで、2年間の活動とそれを通してお感じになられたこととお話して下さいました。途中、10分ほどの映像では、認知症の老人と彼の家族の様子が紹介されました。認知症の患者は、暗闇の中にいるようなもので、一人で生きることが不可能であり、また、その家族は彼(女)を面倒みること暗闇に巻き込まれ、ストレスでうつ病になったり、心を病むことが少なくないとのことでした。バンバン神父様も2年の間、日々、そのような人々の悩みに耳を傾け、共に歩いてこられたのだと思います。

介護環境をめぐるは、アメリカでも日本同様、予算が逼迫しており、病院・施設の運営を自立させようという動きがあるようです。その中で、薬や医療機器、施設に偏重した介護から家族や職員との“つながり”の中で、患者が自立できるように自然な形・方法でサポートする介護へ変えていこう、という取り組みが始まっているというお話でした。神父様がお話の中で、そのような、患者が医療施設の中で家族・職員の愛情に包まれながら、自然に自立を目指して生きていこうとできる、まさに「エデンの園」のような環境が、患者と、そしてその家族にも必要だ、と何度も強調されていたのが印象的でした。(豊谷)

📖三日月会

<例会>

8月はお休みです。

<総会> (11ページ参照)

9月18日(敬老の日)午後1時~3時

午後1時~2時 大司教司式ミサ

午後2時~3時 大司教講話

「みんなで担う信徒奉仕職」

講話後、懇親会

📖青年会

<定例会>

8月12日(日)12:30~14:00 於:第3会議室

内容:福音書の分かちあい

初めての方も是非気軽に参加下さい!!

8月26日は26日、27日とキャンプ(予定)のため、定例会はお休みです。

📖教会学校

“教会大掃除、楽しくできました!”

教会学校では、7月9日(土)15時から約1時間、教会大掃除を行いました。この掃除は、いつも婦人会を中心に行って下さっているのですが、教会を毎週のように使わせていただいている教会学校でも、できるときにお手伝いしようということになり、今回、実施する運びとなりました。

掃除をはじめの前に、私は子供たちを全員集めて次のような質問をしました。「なぜ、掃除をするのだろうか?」自分の考えを紙に書くように言いました。子供たちの紙に向かう姿は真剣そのものです。その後、その場にいた40人ほどの子供“全員”に答えを聞きました。帰ってきた答えをホワイトボードで整理すると、「よごれているところをきれいにするため」「いつも使わせてもらっているから」「みんながつかう場所だから」「神様がいる教会だから」「ほこりで病気になるないように」「ピカピカにしたら、きもちがよいから」という項目になりました。子供たちは、この機会に掃除の意義・意味についてよく考えることができたようです。

その後、各学年に分かれて掃除を行いました。1年生~4年生は、いつも使っている第1~第4会議室の担当で、5・6年生は聖堂の担当です。20名を越える保護者の方も一緒にそこに入って、子供たちを支援して下さいました。この日は、子供たちは非常にやる気になっていて、自分の担当の場所をどうやって「ピカピカ」にしようか考え、一生懸命に、しかしながら楽しそうに掃除をしていました。保護者と一緒に掃除をするのも楽しい体験になっていたようです。そして、自分たちの担当の場所が終わったあと



.....なんと、ロビー、玄関、廊下、トイレ、窓ふきなどを積極的に手伝ってくれる子供たちがとてもたくさんいたのです！これは、とてもうれしいことでした。

掃除が終わった後にあちこち覗いてみたら、玄関の窓がピカピカに光っていたり、聖堂の中央通路の赤い絨毯が「真っ赤」になっていたり、会議室の黒板が新品のようにきれいになっていたり、その日の成果がたくさん見つかりました。掃除後に満足そうな顔をしている子供たちを見ると、今日は子供たちにとってよい体験になったのだと感じました。次回、また3学期にお手伝いすることになっていますので、そのときにまたよい体験ができるだろうと思い、楽しみにしています。

本日、掃除に参加して下さった多くの方に感謝します！ありがとうございました。

(教会学校リーダー 三澤 尚久)

📖 典礼部

典礼奉仕者の募集結果

4名の方の申し込みがあり、11月より奉仕していただくことになりました。

聖体奉仕者の集いについて

日時：10月29日(日) 13:00~16:00

場所：小聖堂とイグナチオホール

指導：オマリー神父様(黙想と顕示)

📖 養成部

夏秋の活動計画

平和旬間プログラム

講演 8月12日 13:00~16:30

「ザビエルの去ったあと」

講師 イエズス会 川村信三神父

近隣教会との合同礼拝

8月13日 13:00~14:00

説教 川村信三神父

聖書朗読リレー

8月26日 「エゼキエルの預言」を中心に

旧約聖書三大預言書中、最も難解とされ、馴染みの薄いエゼキエル預言書。本年は10月に雨宮神父様に解説して頂く予定になっています。朗読者を8月6日より募集いたします。

「哲学入門」

第1回 9月23日 10:30~12:00

講師 英知大学教授 奥村和滋先生

受講料 一般 1,000円 学生 300円

養成部有志が共同企画に加わったプログラムで、激しく移ろう世の中にあって私たちは如何に生きていくべきなのか、哲学の視点で学んでいければと考えています。

以降、10月28日、11月25日、1月27日を予定しています。

公開講座

10月21~22日 「エゼキエルの預言」

講師 雨宮慧神父様

祈りの道場

12月2日

📖 社会活動部

8/4(金)11:00~(初金ミサ後)

社会活動部連絡会

7月の連絡会で語り切れなかった事が多数あります。是非ご出席をお願い致します。

8/25(金)14:00~おにぎり作り

須磨方面夜回り協力の為に作ります。お暑い折ですが、ご協力宜しくお願い致します。

9/1(金)11:00~(初金ミサ後)

社会活動部連絡会

・今月の「手芸の集い」、「手作りコーナー」はお休みさせていただきます。又、社会活動神戸センターの炊き出しは、中高生の体験学習「Come and See」担当されますので、お休みとなります。9月以降の担当日には、これまで通りのご協力を宜しくお願い致します。

📖 行事部

8/19(土)納涼の夕べを目指し、由利光彦実行委員長を中心に各会代表者に集まっていたが、7/16(日)に第二回実行委員会を行いました。今年も、第1部でオルガンの演奏で始まり、第2部ではジャズとブルースで楽しい一時をすごしていただきます。今年も素晴らしい演奏者が参加して下さいます。女性リーダーによる漫才もどうぞ期待！囲碁将棋にヨーヨーなどのゲームやお寿司、焼きそば、カキ氷、ベビーカステラなどおいしい食事も取り揃えて、皆様のお越しをお待ちしております。各会の代表者さんに感謝！今年のポスターは一味違います。一度ご覧下さい。

主任司祭より

海星病院新聖堂のお当番と集会祭儀司式者候補について

教会報 6 月号で募集いたしました「海星病院新聖堂のお当番」の方 8 名が決まりました。

**梅原さん、木鎌ご夫妻、木暮ご夫妻、長田さん、
藤井（恵）さん、藤原（恵）さん （五十音順）**

また、集会祭儀司式者候補も決まりましたので、あわせてお知らせいたします。現職 7 名に新たに 5 名が加わり、計 12 名の方がご奉仕して下さいます。候補者 5 名の方々は 9 月の集会祭儀司式者養成コースに参加されます。

**飯塚（和）さん、シスター小沢、佐久間さん、
堤さん、藤原（恵）さん （五十音順）**

募集に応じてくださったみなさまに心より感謝いたします。信徒のみなさまには、上記の方々への温かい支援・協力をお願いするとともに、この奉仕の輪が今後さらに信徒間に広がっていくことを願っています。

教会受付について：感謝とお知らせ

教会受付は、信徒の皆様と教会を訪ねて来られるさまざまな方々のために、また電話・ファックス・メールなどで問い合わせをされる方々のために、笑顔をもって誠心誠意奉仕して下さっています。皆様と一緒に感謝したいと思います。お名前と勤務日は、阪田さん（週 5 日）、黒澤さん（週 4 日）、シスター上田さん（土・日の 2 日間）です。尚、受付時間は原則として午前 9 時～午後 5 時です。

（1）唯一男性の藤原 泰さんはお元気に勤務を続けて下さっていますが、7 月には目出度く三日月会員に昇進されました。ここに、心からのお祝いと感謝を申し上げたいと思います。

これを機会に、8 月からは週 2 日間（月曜・金曜）のみの勤務とすることをお望みになりましたので、お知らせ致します。その本意は勤務以外に、結婚準備セミナー、若いお母さん方との聖書の分かち合い（ベビーとママ）、福音書の輪読会、典礼の勉強会、集会祭儀司式者としての働きなど、もっぱら信仰に奉仕するための時間を多くお取りになりたいことだと思います。

（2）教会受付には、種々な理由から社会経験のある頼もしい男性が一人は必要であり、当面は藤原さんと連携しながら働いて下さる方を探しておりました。幸運にも、壮年会の中から蛭田 武さんがその重責を受けて下さいました。まだ現役としてのお仕事を持っておられますので、今年度は月 2 回の予定で、土曜日に勤務して下さいます。どうかよろしくお願い致します。

（3）ところで、受付の方々は典礼祭儀がスムーズに行われるように聖堂や香部屋の整理整頓をはじめ、教会敷地内が安全できれいに保たれるように心がけて下さっています。

**皆様も是非、忘れ物や電気・冷暖房への責任、部屋の片付けなどにご協力をお願い致します。
教会を我が家のように大切に、次のグループの方々が気持ち良く使用出来るように努力しましょう。**

7月小教区評議会報告

7月9日(日)10:15~(第4会議室)

1. はじめの祈り

2. 報告事項

(1) 神戸地区評議会報告(7/2住吉教会、池長大司教同席) (志水)

議題：各小教区評議会規約の文章化、見直し、改訂について。

これからの教会は、信徒・司祭みんなで協議して決めていくように要請があった。

地区広報誌「つながり」8月号テーマ：地区評議会の改善

(2) 大阪教区新生推進チームアンケート結果報告(鈴木)

地区としての共同責任を深めるための課題

地区全体として考えるべきこと

以上2点の課題に対し、神戸地区からは

- ・子どもが行きたくなる教会(リーダー養成等)
- ・グループで行うキリスト教入門講座
- ・信徒で執り行う通夜・葬式 などについて提案した。

(3) 新教会案内パンフレット(福田)

最終案で1000部印刷。

(4) 海星病院新聖堂奉仕者8名決定(桜井神父)

9月シスターからの引継ぎ開始。11月から正式に実施。

連絡窓口：木暮さん(壮年会)

(5) 集会祭儀司式候補者5名決定(桜井神父)

候補者は9月の養成コースに参加。連絡窓口：大倉さん

(6) 9・11時ミサ教会案内係り(北川、代理志水)

10数名の新メンバーを得て新体制発足。取りまとめ：婦人会

(7) 市民クリスマス(12/15)実行委員：十河さん、長田さんに決定

海星病院新聖堂奉仕者と集会祭儀司式候補者のお名前は、今月号別ページにて発表していますので、ご覧ください。

3. 協議事項

→ (1) 聖堂修繕費特別献金

・7/8より依頼書配布。7/23頃までには700所帯全体へ配布終了予定。

・7月末週報で、中間報告の予定。

(2) 2007神戸地区大会プログラム内容

テーマ：「教会で会おう」(千原)

・実行委員会にて、各小教区の取り組みを題材にした発表をすることに決定。

・六甲教会は、教会学校にスポットを当て提案する方向。

特に、「家庭での祈り」の推進、子どもだけではなく保護者を巻き込んだ取り組み等。

私たちの教会です。皆様、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。詳細は、お配りしている特別献金封筒内の趣意書、あるいは教会報7月号3頁をお読みください。

→ (3) 三日月会総会(9/18)の取り組み(詳細は別項)

三日月会では10月からの例会でも引き続きこの話題を取り上げて行く。

→ (4) 夏の行事予定

納涼の夕べ(8/19)音楽中心で、昨年と同様形式で計画中。

第2回実行委員会：7/16 13:30より

教会学校キャンプ(8/6~9)バンバン神父・シスター上田同行
中高生会キャンプ(8/13~16)バンバン神父・シスター上田同行

(5) 施設管理費内容見直しと補正予算等

施設管理部全体で協議のうえ、10月評議会で報告・協議。

電話交換機更新：来年度の予定であったが、故障続きのため再検討。

教会名称変更に伴う看板等の更新：施設管理部で協議のうえ、10月評議会で報告。

4. その他

(1) 典礼奉仕者の集い(6/11、6/18)報告

参加者83名。バレンタイン神父のお話し後、グループに分かれて、典礼をよりよくするためにすべきことについて協議。各グループ協議結果を典礼部で検討予定。

(2) 掃除ボランティア募集(婦人会)

3時間帯登録制で、来週より募集開始。まずは1年間を目安に実施予定。

(3) 訃報の連絡について

婦人会・壮年会連絡に、地区会からの連絡も加え、なるべく連絡が行き届くよう努める。

(4) 池長大司教聖書セミナー(8/24・31、9/14・21・28) 神戸バイブルハウス

詳細はチラシにて。多数参加を。

(5) シルバー大会 10/28(土)10時(カテドラル)多数参加を。

4. 次回小教区評議会：2006年10月8日(日)10:15~

地区会だより

(第14地区会からのおさそい)

“ 聖書を読む会 ”

以前から聖書を読みたいという気持ちが強くあったのですが、聖職者の方の解説付でないといえぬという依存心でなかなかじっくり聖書に取り組みませんでした。一方、地区会のお世話をし、地区集会のあり方を考えるうちにこれは教会の一員として続けられる集会の一つではないかと思い、地区外の方々にも呼びかけとあえず始めてみる事になり、今年の2月から月一度の信徒だけの“聖書を読む会”をスタート致しました。今年はB年ということでマルコ福音書から始め、今月第12章まで読み終わりました。読み終わったといっても疑問に思う事、判らない事は沢山あり、宿題にして調べたり、それでもわからない事は溜めておいて神父様がシスターにいらしていただいて質問をしようという事にしてあります。6月にはS r. 出口にいらしていただき、助けていただきました。1時間30分のまじめなお勉強の後は昼食を楽しみながらホーリーなお話ばかりではなくいろいろな話題で盛り上がり、3時間程の集会を終えます。メンバーは現在12人。未信者の方もメンバーに加わって下さればもっと嬉しいです。毎月第2水曜日午前10時半から折川宅でやっております。興味のおありの方はどうぞお申し出下さい。

折川

こんな地区集会もあります ～ 伯母野山地区会～

六甲学院の野外ミサのあと、赤松神父様のギターの弾き語り。

窓から滑り込んだ新緑の薫りでお声がいつそう爽やかに聞こえました。



~~~~~

## 「典礼奉仕者の集い」に参加して

毎年行われる「典礼奉仕者の集い」が今年も6月11日と18日に開催され、今年は83名の方が参加されました。オルガンや朗読、案内係、先唱や祭壇奉仕などいろいろな奉仕の方法で典礼に参加しています。

この集いは本来信徒全員で考えなければならないテーマだと思います。教会に典礼がなかったら、教会ではありえないし、ともに祈る祭儀では奉仕者とその他の観客であってはならないのですから、共同体全員で考えるべきテーマだと思います。

このようなことを確認しながら、集いではバレンティン神父様から「まず必要な事は、準備です。」との指摘で始まりました。奉仕者は心を騒がせないように事前に余裕を持って準備する事が必要です。そして、神父様の言葉を借りれば「壁に溶け込むように」祭儀の邪魔にならないで奉仕できることが奉仕者の心得でしょう。

集いでは参加者によって「六甲教会の典礼をよりよい典礼にするために、私たちは何をすべきか？」というテーマでグループに分かれ討議しました。各グループでは活発な意見交換がありましたが、主なものは次のようなものでした。「事前の準備に時間的に余裕を持つ」「奉仕者同志のコミュニケーションを深める」「いろいろな奉仕を体験する」「若い人を育てる意識が大切」などです。そのほか、オルガニストへの注文や家庭での侍者会と子供たちのサポートの大切さなど各役割への気づきも活発に話し合われました。

六甲教会では、朗読者や聖歌奉仕者のご努力もあって、朗読も詩編の歌唱も素晴らしくなってきたと思いますが、継続的で継承する訓練も必要です。そして何より教会の基本である典礼に関する関心を、共同体全員が持つ必要があるとつくづく思いました。

(文責 藤原)



## 7月16日住吉教会との合同ミサ

6月17日に献堂式を終えたばかりの住吉教会で、パウロ・セコ神父（住吉・神戸中央共同宣教司牧チーム）、桜井神父、バレンタイン神父の司式のもと、住吉教会・六甲教会の交流合同ミサが行われました。蒸し暑い日でしたが、住吉・六甲教会を合わせて350名程の信徒が集まり、ともに神さまに祈り、感謝し、交流を深めました。今後もこのような交流の場が増え、ブロック共同体として一緒に歩んで行くことができるように、ミサの最後に全員で唱えたお祈りをご紹介します。（広報部）

『ブロックで歩む祈り』  
一致の源である神よ  
あなたはこの神戸東ブロックの教会を  
キリストのからだのかけがえのない部分として集められ、  
一つに結んでくださいます。  
新しい建物を通して、  
ますますわたしたちの心が一つになり、  
神の喜びを証するブロック共同体となることができますように。  
アーメン。



---

---

### 図書室からのおねがい

この教会に立派な図書室が備えられ、多くの方に利用されていることを、係として嬉しく思っております。利用の仕方は、ご存知のように、いつでも閲覧自由ですが、貸出は1人5冊、2週間以内としています。

最近、貸し出されたまま長期間戻って来ていない本が増えています。ここでお願いがあるのですが、そうした本は、他の方にとってもきっと読みたい、借りたい本ではないかと思えます。うっかり返し忘れになっている本がないか、今一度お手元をお調べ下さるようお願いいたします。もしそのような本が出て来ましたら、図書室の返却箱に入れておいて下さい。（注：CDやカセットテープについても同様をお願い致します。）

## < 典礼部より >

### 皆さんご存知でしょうか？

祭壇のろうそくの数はどうやって決めているか？

典礼暦では、典礼祭儀の優先順位が決まっています。主日、祭日、祝日、記念日、週日となっています。そして、六甲教会では、祭日と復活節の主日は6基。その他の日は4基です。復活のろうそくは、復活徹夜祭から復活の8日間および聖霊降臨までの復活節の主日、洗礼式と通夜・葬儀にキリストの象徴として点灯されます。

ご聖体をご病気の家族に届けるには？

ご聖体を病人に持っていくのは、通常は司祭、助祭です。しかし、司祭の了解があれば家族や聖体奉仕者が届ける事もできます。持参するためのピクシスという特別な容器も教会にあります。この容器はミサ前に司祭に了解をいただいて香部屋で受け取って下さい。

典礼は？

典礼祭儀は、「ともに祈る祭儀」です。典礼総則の中でもすべての参加者が「二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいる」というキリストの約束を思い出すように指摘されています。「ともに祈る」ためには参加者全員の協力が必要です。ぜひ典礼について関心をお持ち下さい。また、いろいろな奉仕を体験することによってミサ典礼もよく分かります。典礼当番の役割変更を希望なさる方は典礼部のコーディネーターまで遠慮なく申し出て下さい。

---

## 📖 図書紹介

トルストイ『戦争と平和』再読

以前、学生さんによく言ったものだ。これを読まないのは人生の重大な損失ですよと。トルストイ『戦争と平和』である。最近再読した。一八一二年、ナポレオンのモスクワ侵攻時の、農民から貴族にいたるまでのロシアのすべて人々を描いた物語である。読んでいると忘却していた場面が次々と鮮明に蘇る。蘇りを経験することが再読の功德なのである。その一つ。主人公の一人、フランス軍の捕虜になり、カラターエフの死に遭遇し、憔悴しきったピエールが夢を見る。とうに忘れていた温和な老教師の姿が、ピエールの心に蘇る。スイスで勉強していたときの地理の先生である。老教師はピエールに地球儀を見せた。それは不思議にも一定の形をもたず、生きて動いている球体

である。球の表面は一面にぴったりとくっつきあった水の滴からできている。老教師は言った。「中心には神がいる。そして、どの滴もできるだけ大きく神を映そうとして一所懸命にひろがろうとしているのだ。滴は大きくなったり、溶けあったり縮まったりする。そして表面で姿を消したものはいったん底の方へ隠れて、また再び呼び出される。ほら、これがカラターエフだ。そら、ひろがって姿を消した。わかったろう。おまえ。」この夢が『戦争と平和』全体を語っているようである。戦争と平和のなかでの「滴」としての人間の生と死の、これは感動的な物語である。この長大な名作の悠久の流れに一度身を投じてみてはいかがでしょうか。 (小松原千里)

## 池長大司教の講話開催案内

9月18日(敬老の日)の午後に池長大司教をお迎えして、当日開催される三日月会の総会に際して大阪教区における信徒奉仕職の在り方に就いて講話をして頂きます。

六甲教会は既に教会の建物も第二バチカン公会議で示された祭壇を囲んで捧げる形態になっていますし、ミサの侍者が男女別なく成っていますし、聖体授与も信徒が行なっています等々、これからの教会の姿である「信徒全員が共同責任を担い合い、協働する教会」に向って「司祭、修道者との協力を重視しながら、信徒の役割と責任(使命)を前面に出す教会」の実現を一步一步進めて参りましたが、今までの教会が司祭を中心にした活動だった為に、第二バチカン公会議で示された「家庭の仕事も、その他の此の世の仕事も決して霊的生活と無関係なものではない」、言換えれば「信徒の毎日の職業生活、社会生活にあって神との一致の機会、み旨の達成の機会、人々への奉仕の機会、

宣教の機会が与えられているのです」と言われましても、又、信徒ができる奉仕職(聖体授与、集会祭儀など)や神父に頼らず信者でできる集会(聖書勉強会など)を積極的に推進しようとしておりましても、信徒全員に主旨徹底するには更なる努力と導きがないと緒についたばかりだと言わなければ成りません。

「みんなで担う信徒奉仕職」活動が始まりまして、信徒と司祭がそれぞれ固有の役割を担い、宣教活動は総て司祭の役割と決め付ける事無く、一人ひとりが自分の置かれている場で神からの呼びかけに応えようとする活動を実践に移す良い機会として池長大司教の講話を願う事としております。

今回の講演は三日月会以外の方々にも是非聴講頂きたく多数の御来場をお待ち致します。

残暑厳しい折では御座いますが是非ご出席を賜りたく御案内申し上げます。

- 1) 開催日時 平成18年9月18日(敬老の日)午後1時~3時
- 2) 開催場所 カトリック六甲教会 聖堂
- 3) 式次第 午後1時~2時 司教司式ミサ  
午後2時~3時 講話「みんなで担う信徒奉仕職」

~~~~~

**「天使」や「楽園」における人間の生活について
具体的イメージを描けますか**

「神を愛する者たちには、万事が益となる」(ローマ8・28)。6月の会では神の摂理の不思議を
教えてもらい、7月の会では「天使」、そして「楽園」における人間の生活について教わりました。

「カトリック教会のカテキズムを読む会」は、毎月第一日曜の9時のミサ後、開催しています。文
字通り皆さんで読んでいます。ご都合がついたときに、お気軽に、ご参加ください。(桐原)

~~~~~

**平和を祈る集会祭儀**

**8月15日 19:00 六甲教会小聖堂**

**「平和旬間最後の日」「聖母被昇天の祭日」「終戦記念日」**

**一緒に平和について考え祈りましょう。**

教会報月9月号の発行は、8月27日(日)です。

編集会議は8月20日(日)です。

記事原稿は、8月13日(日)正午までに信徒会館事務室  
へご提出願います。(広報部)

<http://www.rokko-catholic.jp>

**六 甲 カ ト リ ッ ク 教 会**

〒657-0061 神戸市灘区赤松町 3-1-21

電 話 078-851-2846

発行責任者 桜井彦孝 神父

編 集 広 報 部